

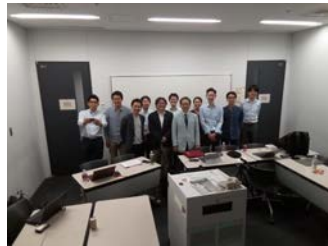


牧ゼミ 説明URL:

<http://www.kanetaka-maki.org/zemi/global/>

ゼミ紹介「イノベーションとアントレプレナーシップ」

今日は昨日までできなかったことだけをやってみたい人へ



牧 兼充

早稲田大学ビジネススクール准教授

出典: 著者撮影

1997: IBM's Deep Blue vs Garry Kasparov



2011: IBM's Watson vs Ken Jennings



出典:

<https://www.flickr.com/photos/22453761@N00/592436598/> (CC BY 2.0)

http://www.kasparovagent.com/photo_gallery.php (CC BY-SA 3.0)

https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Watson_Jeopardy_demo.jpg (CC BY-SA 4.0)

ディスカッション

- Deep Blueが現時点での最強のチェスプレイヤー。Deep Blueにチェスで勝利する方法があるとしたらどんな方法?
- Deep Blueの弱みとは何か?



エリック・ブリニョルフソン

MIT教授

MITデジタル・エコノミー研究所ディレクター

今日の世界最強のチェスプレイヤーはコンピュータでも人間でもなく、人間とコンピュータが一体となったチームである。フリースタイルのチェス競技では、人間とコンピュータからなるチームが競い合うが、勝者は最も強力なコンピュータを持つチームや、最強のチェスプレイヤーがいるチームではないことが多い。勝つのは、コンピュータと人間のユニークなスキルを一緒に働かせることができるチームである。これは、我々がものごとを前に進めるための示唆を与える。つまり、価値を創造する新しいやり方で、人とテクノロジーを共に働かせる、ということである。(Brynjolfsson, 2012)

AIと人間は補完財であって、代替財ではない!

今まで以上に科学技術を活用する力がクリティカルになっている!

MBAのカリキュラムはAI時代以前に作られたもの! → それを補完するのがゼミ。

出典: https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Erik_Brynjolfsson_at_MIT_Sloan_CIO_Symposium_2013.jpg (CC BY-SA 2.0)

私はMBAにおけるゼミの存在をととても大切なものとして、重視しています

- WBSが、海外のMBAと比較しても大きな優位性を持ち、大きな差別化になっているのは、ゼミの存在
 - 海外のMBAはあくまで1年ないしは2年の期間中に授業を通じて学ぶことが中心で、学生間の交流は増えても、教員とは一定の距離がある
 - WBSでは、全学生がゼミに所属することで、教員との距離を飛躍的に縮め、言わば一人ひとりの学生へのテーラーメイドのプログラムを提供することが可能
 - ゼミで学んだ内容が、MBAでの学習の中核となり、卒業するときにMBAで何を中心に学んだのかを答えられるようになる
 - 教員が一人ひとりのMBAの学生の学習に具体的に責任を持っている、という意味でも、とても優れた制度

時代に対応する先端的な「学び」の場がゼミ。AI時代、コロナ・パンデミック時代。
新しい知識や学び方が求められて居る。

My Background: Kanetaka M. Maki, Ph.D.

As of April 1st, 2019



UC San Diego



Stanford | APARC Walter H. Shorenstein Asia-Pacific Research Center



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部
Keio Shonan Fujisawa Junior & Senior High School



Kanetaka M. Maki, Ph.D.: Research Overview

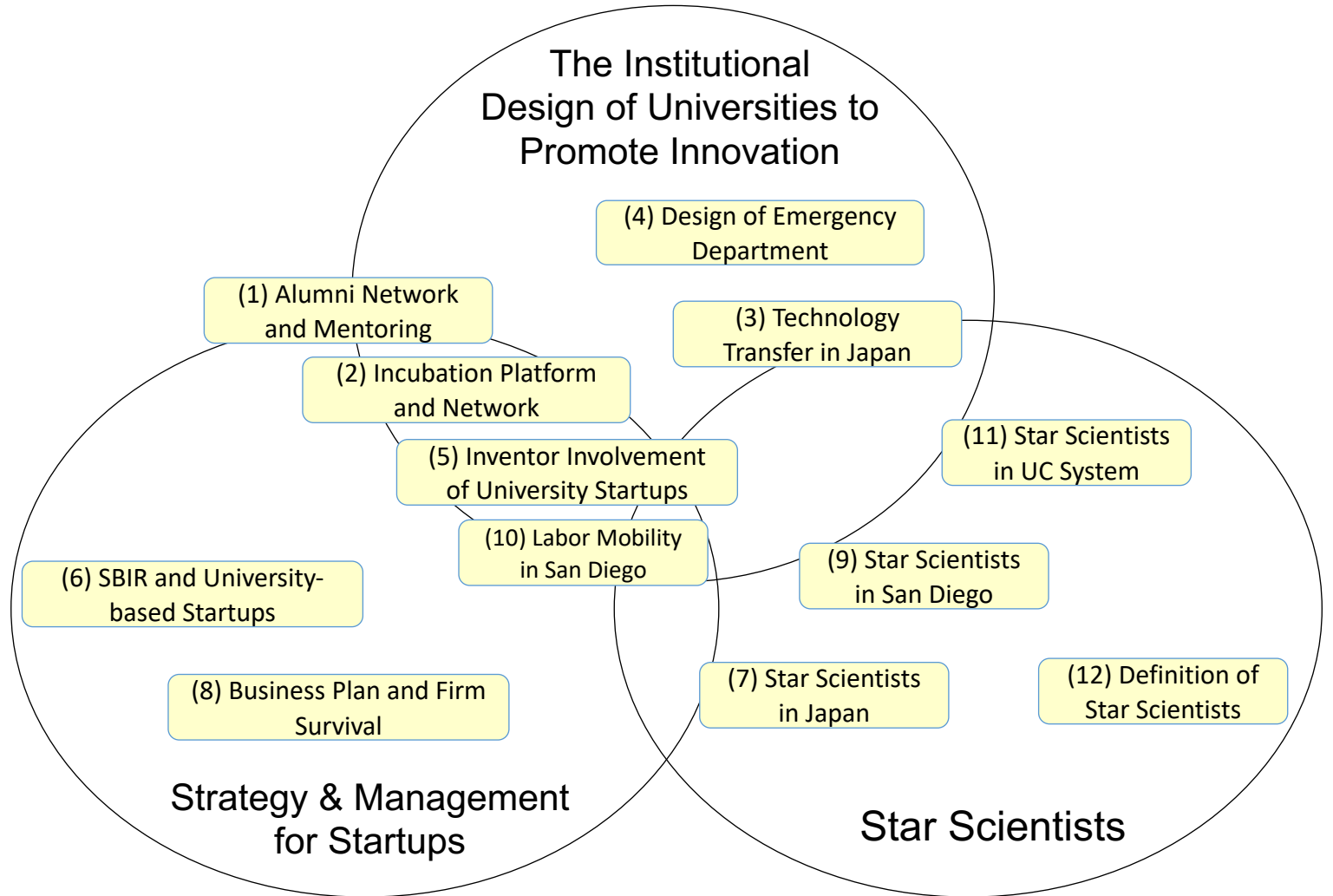
As of April 1st, 2019

Science of
Innovation & Entrepreneurship

Technology Management

Science, Technology
and Innovation Policy

University-industry
Technology Transfer



担当科目

- 科学技術とアントレプレナーシップ (昼夜合併/春クォーター)
- Lab to Market: 科学技術の商業化と科学的実験 (昼夜合併/夏クォーター)
- Technology and Operations Management (全日/春クォーター)
- 技術・オペレーションのマネジメント (夜間主/秋クォーター)

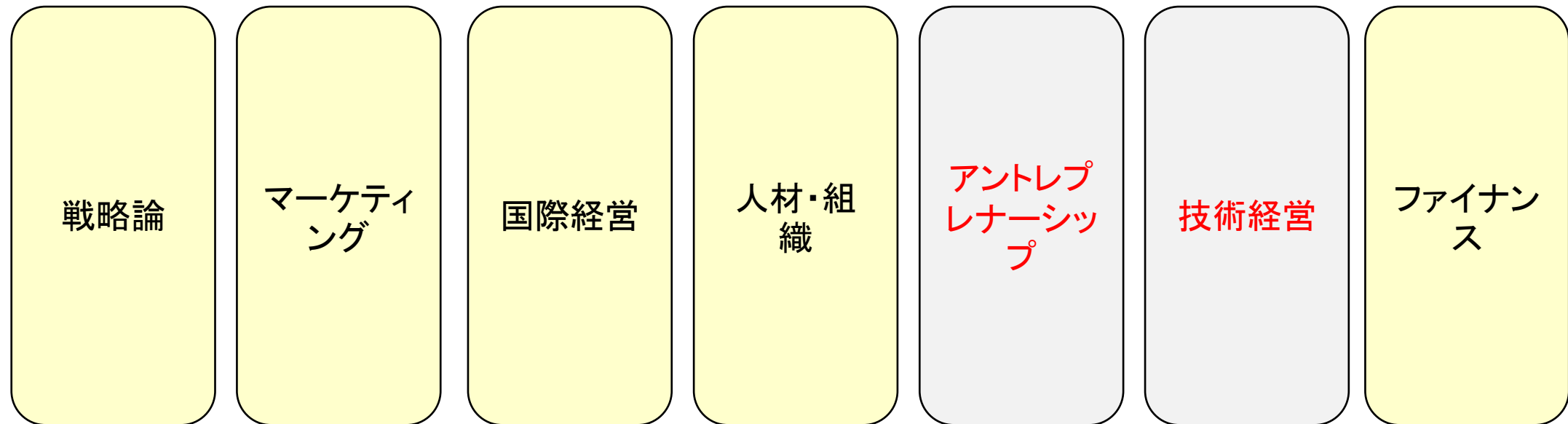
イノベーションとアントレプレナーシップ (Innovation and Entrepreneurship)

- 新しい科学・技術がビジネスにどのように影響を与えるのかということに関して、幅広く扱います。
- その中でも特に、スタートアップを含めて、科学・技術を活用した新事業を創造するために必要な知識・スキルについて学んで行きます。

トピックの例: 学生の関心領域

- テクノロジーとビジネス
- スタートアップ
- 大学発ベンチャー
- フィンテック
- 教育ビジネス
- アクセラレータ
- デザイン思考
- スタートアップ支援
- 中小企業のマネジメント
- ファミリー・ビジネス

学問領域とゼミ選択 (イメージ)



本ゼミの領域 – 経営学の多分野にまたがる複合領域

戦略論

マーケティング

国際経営

人材・組織

アントレプレナーシップ

技術経営

ファイナンス

科学・技術

特色 – 本ゼミでは、以下の3点を重視します。

- 先端的かつ学術的な理論を理解する力だけではなく、その理論を実務に応用していく力を養うことを重視します。
- ゼミを介して、修了後も有益なビジネスネットワークを構築することができる。MBAの価値は、学んだ知識だけではなく、そこで得られた人的ネットワークが同様に重要であると考えています。
- 国内のみならず、グローバルな世界で戦うことができる力を養うこと。海外からのゲストもお呼びしますし、ゼミとしても積極的に海外に出かけていきます。

ゼミの進行

- ケース・ディスカッション
 - ゲストスピーカーによる講義
 - 学生による発表
 - 論文・本の輪読・議論
-
- カンパニー・ビジット
 - 懇親会
 - 夜間主総合ゼミとの合同セッション

専門職学位論文に求めるもの

- 修士論文では、本ゼミで扱うテーマの延長線で研究を行っても良いですし、先行研究から得られた知見を用いたケース分析を行っても構いません。
- 自分自身が興味を持ちパッションを感じるテーマを選んでください。
- 研究手法や理論との繋がりには担当教員がサポートするので、心配する必要はありません。

ゼミのメンバー構成についての方針

- ダイバーシティを重視します。
- 以下のどれかのトピックに関心を持つ学生が本ゼミに向いていると考えています。
 - 企業内でどのようにイノベーションを起こしたら良いか悩んでいる
 - スタートアップを含めた新事業創造に関心がある
 - 科学や技術を活用したビジネスに興味がある

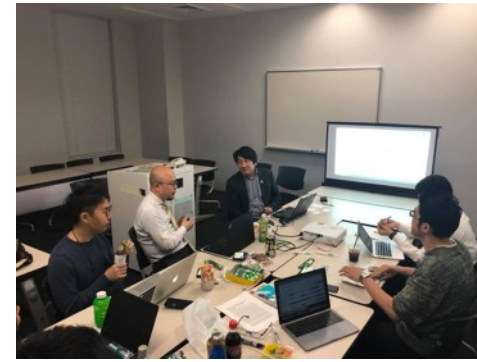
ゼミ実施曜日

- 英語ゼミ: 木曜日5限
 - メインのゼミであり、多様なバックグラウンドを持つ留学生と一緒に切磋琢磨します。
- 日本語ゼミ: 金曜日5限
 - 英語セッションのフォローアップや、修士論文の議論などを行います。
- その他
 - メインとなる英語・日本語でのゼミに加えて、夜間主総合プログラムのゼミ・メンバーとも積極的に交流します (金曜7、8限)

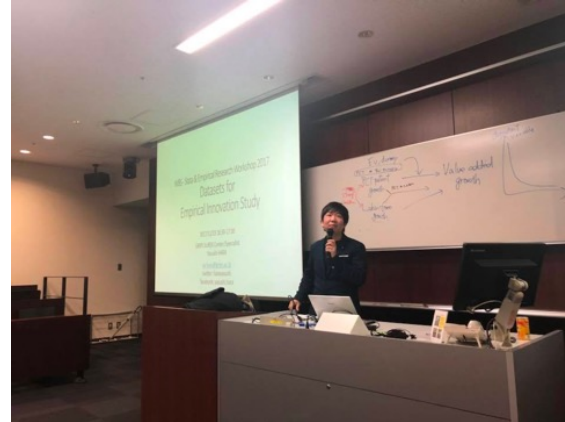
多様なゲスト・スピーカー

- シリコンバレーのベンチャー・キャピタリスト
- スタートアップの経営者
- 世界銀行職員
- 日本企業の海外展開責任者
- 行政の専門家
- シリコンバレーのヘッドハンター
- 深センの専門家
- 事業承継の経験者

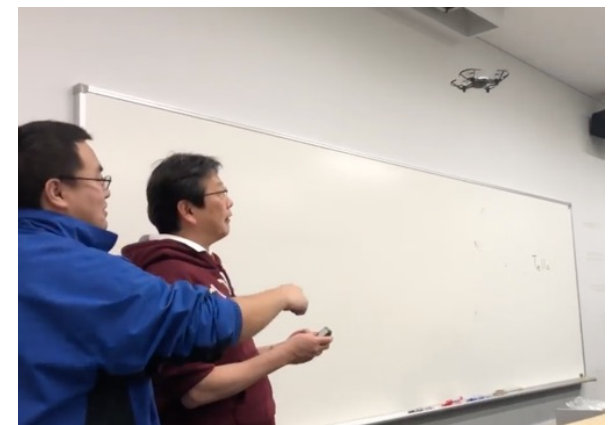
出典: 著者撮影



ワークショップ (統計ソフト、ディープ・ラーニング、3Dプリンタ、ドローン)



出典: 著者撮影



交流会 (夜間主総合ゼミとの交流 / 他のゼミとの交流 / 他大学MBAとの交流)

出典: 著者撮影



会社訪問

グーグル
楽天
資生堂



出典: 著者撮影

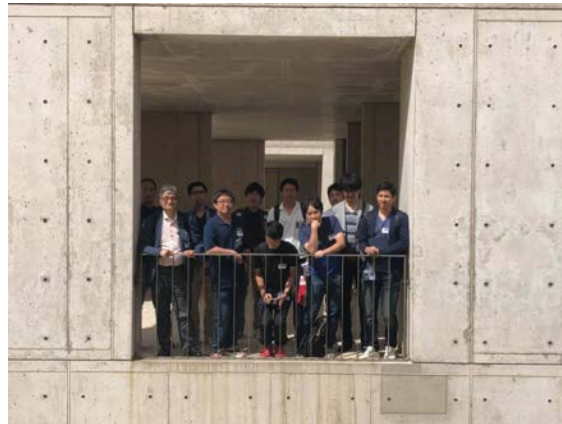
国内合宿・スタディ・ツアー

- ゼミ・メンバー合宿
- 浅羽ゼミとの合同スタディ・ツアー: 鶴岡
- 長内ゼミとの合同合宿: 大分 / ソニー・太陽工場 & 大分舞鶴高校
- 浅羽ゼミとの合同合宿: 中津川・Inclusive Business



出典: 著者撮影

海外スタディ・ツアー: サンディエゴ



出典: 著者撮影

海外スタディ・ツアー：深セン



出典: 著者撮影

個別相談日時

- 以下のサイトにアクセスし、アポイントを申し込んでください。ガイダンス直後からアポを受け付けますので、早めに申し込んでください。
 - <http://www.kanetaka-maki.org/zemi/global/>
- 面接等の際に用意するもの
 - ゼミへの志望理由を説明できるように準備しておいて下さい。
 - ゼミに入る・入らないに関わらず、これからWBS生の皆さんと一緒に交流していくきっかけの場にしたいです。お気軽にいらして下さい。
- 質問などの連絡先
 - kanetaka-sec@kanetaka-maki.org (牧＋秘書のアドレス)

特記事項 (1)

- このゼミは初期段階で検討する人は多いものの、最終的には倍率はそこまで高くなり、希望した方は通ることが多いです。ぜひ積極的にご応募下さい。
- ゼミ面談にいらした方には、随時今年度のゼミの選考方針に関する情報をお伝えするようにします。
- ご興味のある方は全日ゼミの現役メンバーとも積極的にご相談することをお勧めします。

特記事項 (2)

- 2017年度秋学期から開始した新しいゼミなので、テーマ、運営方法など、きわめてフレキシブルです。
- 学生との交流をととても重視します。飲み会も積極的にやりたいし、合宿も盛り上がる場としたいです。
- 皆さんのキャリアにとって、WBSでの2年間が人生の転換点だったと言えるように、そしてその中核はゼミだった、と言ってもらえるような場にしたいと思いますし、そのための努力は惜しみません。

今日は昨日までできなかったことだけをやってみたい人へ

kanetaka@kanetaka-maki.org



ハローウィン時の授業風景 (出典: 履修者により撮影)



ゼミ説明URL: <http://www.kanetaka-maki.org/zemi/global/>